

バイオセーフティ技術講習会 基礎コース申込方法について

申込方法: 弊会 HP の申込フォームの URL にアクセスいただき、必要事項を明記の上、送信下さい。

URL: <https://www.npo-bmsa.org/バイオセーフティ-bs-技術講習会情報/バイオセーフティ-bs-技術講習会-基礎コース/>

1. 「バイオセーフティ(BS)技術講習会情報」をクリックしてください。



2. 「バイオセーフティ(BS)技術講習会 基礎コース」をクリックしてください。



3. 下記アクセスいただき、申込フォームにご記入下さい。



バイオセーフティ技術講習会
(病原体等安全管理技術者養成講座)

実施要項

＜基礎コース・第48期＞

(2022年度・前期)

- 会 期 : ① 2022年5月10日(火)、11日(水) 2日間
② 2022年5月17日(火)、18日(水)
安全キャビネット安全取扱他 実施講習 各1日
- 会 場 : ① ZOOM ウェビナーによるオンライン講習
② バムサ環文研研究棟(バムサ習志野ラボ)1、2階実験室
(千葉県習志野市茜浜1-12-3 TEL:047-451-2419)
イカリ消毒 ㈱セミナールーム(D棟2F)

2022年5月

主催: 認定特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会(略称:バムサ)

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-20-8-3F

TEL:03-5740-6181 FAX:03-5740-6185

E-mail: info@npo-bmsa.org, <http://www.npo-bmsa.org>

バイオセーフティ技術講習会<基礎コース>について

・背景と目的

現代社会が生み出した医療公衆衛生分野における新しい問題すなわちエマージング（新興）感染症およびリエマージング（再興）感染症との戦いが続いております。

1993年、世界保健機関（WHO）は、「人類は未だ感染症の脅威にさらされている。病原微生物の新たな挑戦に緊急に対処しなくてはならない。」との警告を発し、現在もこの警告に対応すべく感染症防止対策に世界中の努力が傾けられているところです。

因みに、2002年に中国で発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）、2009年4月にメキシコで端を発したとされるインフルエンザ（H1N1）、そして本邦においても2010年の口蹄疫や2011年の腸管出血性大腸菌O111集団感染が発生するなど感染症に広く注意が傾けられています。また、2013年には再び中国を発生源とする高病原性鳥インフルエンザ（H7N9）や、2014～2015年は、アフリカに端を発するエボラ熱の感染拡大がありました。2014年に我が国でのデング熱の広がり、同年の韓国でのMERSの広がり、2016年のブラジルでのジカ熱の発生、また、2016年に都内警察署で結核の集団感染が起こり、さらに梅毒の感染者数が依然増加しております。麻疹に加え風疹の流行に対して30から50代にかけての男性へのワクチン接種が急務の状態が続いています。また、WHOは、2019年7月18日（日本時間）、コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当する旨を宣言しました。また、現在、新型コロナウイルス感染症が、世界的に今までにない感染拡大を起こし、猛威を振るっています。

以上の状況から、継続して感染症への警戒と対策が国内外に強く求められております。

それらの感染症対策と相俟って微生物関係施設においては病原体等の試験検査および実験研究、遺伝子組換え技術、医薬品等の開発研究・製造などの様々な分野におけるバイオセーフティを確保する必要性が常に求められております。さらに院内感染防止や災害時における病原体等の管理、そしてバイオテロなどに対するバイオセキュリティも世界的な重要課題となっております。

このように社会の脅威と不利益に直結する多岐にわたるバイオセーフティの課題に対応するためには専門的な教育と訓練が不可欠です。

本基礎コースではこれらの諸問題を視野におき、バイオテクノロジー分野も含めたバイオセーフティ関連業務に従事される方々を対象として、バイオセーフティに必要とされる「ソフト」と「ハード」両面の基礎的な知識と技術を習得していただくことを目的とします。

新型コロナウイルス感染症の広がりのために、ここ2年間講習会の開催を停止する事態に至っております。そのため、バムサとして新たな講習形態としてオンラインによる講習の実施を図ることとしました。しかし、実技実習に関しては、オンラインでは達成できないため少人数による実施を行うことにしました。

・到達目標

環境微生物を含む病原体等並びにバイオ関連機器等の正しい取り扱い方について基本的な知識と技術を習得し、その応用に至る実践的な内容について理解を深めることにより、バイオセーフティ専門技術者としての資質が備わることを目標とします。

・講習会の形式

講義（ZOOMによるオンライン形式）と対面式による実習を実施します。

・認定証の発行と認定の更新

本講習会の受講修了者で「認定試験」の合格者には当会の「認定証」を発行します。本認定は概ね3年毎に更新することができます。認定の更新方法及び手続き等は当該年度に直接更新対象者へご案内します。本年、2022年度中の講習会で認定された方々の、一回目の認定更新年度は、2024年度（2025年3月）の予定です。

なお、2020年度から認定更新の新制度が導入されています。講習会時に説明があります。

2022年度・前期<基礎コース・第48期>実施要項

1. **コース名**：バイオセーフティ技術講習会 基礎コース第48期
2. **講習期間**：講義 2022年5月10日（火）～5月11日（水）の2日間
実習 2022年5月17日（火）、5月18日（水）の各1日
3. **日程概要**：時間は現在の予定時間です。正しくは別紙「カリキュラム」によります。
第1日目（全員） 2022年5月 10日（火）9:30～17:10 オンライン講義
第2日目（全員） 2022年5月 11日（水）9:30～16:20 オンライン講義
第3日目（1班） 2022年5月 17日（火）9:30～17:10 実習
第3日目（2班） 2022年5月 18日（水）9:30～17:10 実習
（第3日目の実習は受講者を班分けして、それぞれの班ごとに実施します）
4. **会場**：第1日目、第2日目 ZOOMによるオンライン講義（終了後、理解度テストを実施します。）
第3日目 バムサ習志野ラボ1、2階実験室、セミナールーム（終了後、認定試験を実施します。）所在地等は本要項の表紙を参照。別途、地図をお送りします。
5. **対象分野**：微生物試験検査・研究関係、医療関係、保健衛生関係、医療施設設備関係、食品衛生関係、
医理化学機器関係、ビル衛生関係、医療廃棄物関係、介護関係その他バイオテクノロジー関連の各分野
6. **受講資格**：上記各分野の施設（事業所）に所属し、当該施設の責任者が推薦する者
7. **受講料**：1名60,000円（1施設1名）。
*受講料のお支払いは4月28日までにご入金下さい。
*請求書の発行については受講申込受付確認後、順次お送りします。
*受講料には資料代、実習用予防衣等の消耗品などを含みます。
*一旦、納入された受講料は、原則として返却いたしません。
*新型コロナウイルス感染症拡大により、マスク着用、3蜜防止、手指消毒等
を実施します。尚、ワクチン接種証明又は陰性証明の提示をお願いします。
8. **募集定員**：64名（定員になり次第締切らせていただきます。ホームページに掲載）
定員枠が制限されているため、原則1事業所あたり1名とさせていただきます。
9. **申込方法**：弊会HPの申込フォームより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
また、出席確認の為、当日Zoom上または、ご案内いたしました「zoomウェビナーに入室されましたら…」から出席確認フォームへアクセスいただき、ご記入をお願いします。

10. **申込期限**：2022年4月28日（木）まで。

ただし、定員に達し次第、期限前でも受付を終了させていただきます。

※2022年度は11月（後期）、3月（期末）にバイオセーフティ講習会基礎コースのオンライン開催を予定しております。尚、実習の実施月は別途ご連絡いたします。

11. **その他**：宿泊施設等につきましては、恐縮ですが受講者でお手配ください。

実習当日は検温、アルコール消毒等準備いたしますので、よろしくお願ひいたします
なお、マスクの着用厳守をお願いします。実習の際はフェースシールドをご用意いたします。

[事務局・問合わせ先] 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8-3F（担当：高橋、越前谷）
TEL：03-5740-6181 FAX：03-5740-6185
E-mail：info@npo-bmsa.org URL：http://www.npo-bmsa.org

2022年度・前期 <基礎第48期> バイオセーフティ技術講習会
及び実習等予定項目他

*受付時間：9：00～9：30 1日目の開始時間：9：30、3日目の終了時間：16：30 となります。

I. オンライン講義：総論（第1日目：5月10日,第2日目：5月11日）；

会場：ZOOMによるオンライン講義

○総合ガイダンスと認定更新制度

*細菌、ウイルスなどの微生物及び感染等についての基礎知識

*バイオセーフティの視点からの感染免疫の基礎知識

*バイオセーフティの安全設備（安全キャビネットの構造と機能等）

*実験操作におけるバイオセーフティ

*実験施設における消毒・滅菌技術

*感染症法の概要と感染症の動向

*感染免疫の基礎

*医療機関におけるバイオセーフティ

*バイオリスクマネジメント

*動物実験におけるバイオセーフティ

*感染性廃棄物の適正処理

*カルタヘナ法概略、WHO バイオセーフティ・マニュアル第4版について

2日目の受講終了後に、簡単な理解度テストを行います。

II. 実習（第3日目：5月17日か18日）

○受講者を2班に大別し、実習を実施します。

○実習はさらに二つの小グループに分けて行います。

1) 実習・・・会場：合同実習（セミナールーム）

実習・・・会場：バムサ習志野ラボ（1階、2階実験室）

*個人用防護具（PPE）の着脱技術・・・・・・・・合同実習

*防護具等の機能と選択・・・・・・・・合同実習

*安全キャビネットの構造と保守点検技術・・・・・・・・実習

*安全キャビネットの正しい使い方と操作手技・・・・実習

*効果的な手洗い技術・・・・・・・・実習

*バイオ実験室における消毒・滅菌技術・・・・・・・・実習

*オートクレーブの構造と保守点検技術・・・・・・・・実習

*事故防止と緊急時対策について・・・・・・・・実習

III. 認定試験：第3日目（1班）5月17日）

第3日目（2班）5月18日）

会場：イカリ消毒㈱ セミナールーム

合格者には当研究会の認定証を発行します。

○時間配分及び講師等の詳細について現在調整中です。

○講習項目を一部変更する場合があります。ご了承ください。

○申込み受付後「受講票」、「地図」補助テキスト等をお送りします。

バイオセーフティ技術講習会教材・機器材

1. オンライン講義用教材

- ① 「バイオセーフティ技術講習会 講義資料」(各講師によるパワーポイントスライド)
- ② 補助教材

* バイオメディカルサイエンス研究会編集「バイオセーフティの原理と実際(補助資料版、非売品)」を用意します。(必要に応じて適宜、印刷物を使用または配布)

※各講師によるパワーポイントスライド及び実習テキストについては、弊会のHPより期間限定でパスワード設定し、ダウンロードが可能です。

2. 実習用器材

- ① 微生物実験研究室 (BSL2)
- ② 安全キャビネット
- ③ オートクレーブ
- ④ 消毒・滅菌機器、試薬
- ⑤ マスク、手袋、帽子等個人用防護具、防護メガネ
- ⑥ 各種測定機器
- ⑦ その他

● 実習では感染や汚染を生ずるような材料は使用しませんが、実習に相応しいと考えられる服装を各自で心がけてください。

3. その他

* 当会が推奨するバイオ関係参考図書等を割引販売します。(ご希望の方は、事務局まで)

- ① 「バイオ研究施設のデザイン手法」
割引価格：2,926円(税込) + (送料別)
- ② 「バイオセーフティの事典」
割引価格：12,540円(税込) + (送料別)
- ③ 「実験室バイオセーフティマニュアル」WHO 第4版
割引価格：5,275円(税込) + (送料別)

BS 技術講習会 基礎コース 48 期 カリキュラム (座学) オンライン

※各講座、50 分間となります。

日時：2022 年 5 月 10 日～11 日

座学 (1 日目) (5 月 10 日[火])

9:30~9:35	開講挨拶	主催者代表
9:35~9:50	ガイダンス	担当理事
9:50~10:40	微生物の基礎 I (細菌等)	岡村 登
10:40~10:50	休憩	
10:50~11:40	微生物の基礎 II (ウイルス)	北里英郎
11:40~12:20	—————昼食休憩————— (40 分)	
12:20~13:10	バイオセーフティの安全設備	小野恵一
13:10~13:20	休憩	
13:20~14:10	実験操作におけるバイオセーフティ	矢越美智子
14:10~14:20	休憩	
14:20~15:10	実験施設における消毒・滅菌技術	杉浦彰彦
15:10~16:20	休憩	
16:20~17:10	感染症法概要と感染症の動向	前川秀彰

座学 (2 日目) (5 月 11 日[水])

9:30~10:20	感染免疫の基礎	宮腰秀夫
10:20~10:30	休憩	
10:30~11:20	医療機関におけるバイオセーフティ	腰原公人
11:20~12:00	—————昼食休憩————— (40 分)	
12:00~12:50	バイオリスクマネジメント	杉山和良
12:50~13:00	休憩	
13:00~13:50	動物実験におけるバイオセーフティ	藤本浩二
13:50~14:00	休憩	
14:00~14:50	感染性廃棄物の適正処置	大谷勇作
14:50~15:00	休憩	
15:00~15:50	カルタヘナ法概略(25 分)および WHO バイオセーフティ・マニュアル第 4 版(25 分)	前川秀彰、杉山和良
15:50~16:20	理解度テスト (30 分)	

BS 技術講習会 基礎 48 期 カリキュラム (実習) (対面式)

日時：2022 年 5 月 17 日 (I 班)、または 18 日 (II 班)

場所：バムサ習志野ラボ、イカリ消毒株式会社・セミナールーム (D 棟 2F)

実習 (5 月 17 日[火]: I 班)

- 9:30~10:10 合同実習 1 (個人防護具の着脱) (イカリ消毒(株)・セミナールーム)
- 10:10~11:00 合同実習 2 (防護服の機能と選択) (イカリ消毒(株)・セミナールーム)
- 11:10~13:10 実習 A (バムサ習志野ラボ) *
- 13:10~13:50 昼食休憩 (40 分)
- 14:00~16:00 実習 B (イカリ消毒(株)・セミナールーム) *
- 16:00~16:10 休憩
- 16:10~17:10 認定試験 (イカリ消毒(株)・セミナールーム)

実習 (5 月 18 日[水]: II 班)

- 9:30~10:10 合同実習 1 (個人防護具の着脱) (イカリ消毒(株)・セミナールーム)
- 10:10~11:00 合同実習 2 (防護服の機能と選択) (イカリ消毒(株)・セミナールーム)
- 11:10~13:10 実習 A (バムサ習志野ラボ) **
- 13:10~13:50 昼食休憩 (40 分)
- 14:00~16:00 実習 B (イカリ消毒(株)・セミナールーム) **
- 16:00~16:10 休憩
- 16:10~17:10 認定試験 (イカリ消毒(株)・セミナールーム)

* I 班をさらに 1~4 にグループ分けいたします。

** II 班をさらに 1~4 にグループ分けいたします。